

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）横浜開催に向けて

**「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」最終セミナーを開催！
ぜひ聴講にお越しください**

本市では、今年 8 月に横浜で開催される第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）に向け、有志の大学生等を対象として、アフリカについてテーマを決めてグループワーク等を行う「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」を昨年 11 月から実施しています。

このたび、半年間にわたるグループワークの成果を動画にまとめて発表する最終セミナーを開催します。TICAD9 横浜開催をきっかけとして、学生の皆さんが真剣に取り組んだ学びの成果をぜひご覧ください。

1 開催概要

日 時：令和 7 年 5 月 31 日（土）10 時～16 時（開場 9 時 45 分）
会 場：JICA 横浜 体育館（横浜市中区新港 2 丁目 3－1）
参加方法：当日直接会場へお越しください（無料、入退場自由）
※車いすでご来場の場合は 29 日（木）までにご連絡ください。



キックオフセミナーの様子
（令和 6 年 11 月）

2 実施内容・スケジュール(予定)

10時00分 開会・成果発表会開始 ※12時から13時まで昼休憩予定
発表数：18グループ（1 グループ 3 分30秒程度の
動画放映後、審査員等からコメント）
14時50分 ゲスト講演
登壇者：近藤 千華 様
（UNDPアフリカ局TICADユニット TICAD連携専門官）
15時30分 表彰式
※本セミナーで受賞した動画作品は、UNDP主催の
TICAD9テーマ別イベントでの放映を予定しています。
16時00分 閉会



中間セミナーの様子
（令和 7 年 3 月）

3 成果発表の内容について

アフリカの特定の地域や国について関心のあるテーマを設定し、半年間のグループワークで調査・議論した内容を発表します。

【発表テーマ（予定）】

「ブルキナファソの幼児教育」「ケニアにおける職へのアクセシビリティ向上」「スラムにおける
衛生環境改善」「ザンジバルの伝統文化を生かした女性雇用の向上」などを含む 18 テーマ

※例示した発表テーマは変更となる可能性があります。

裏面あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 本プロジェクトについて

本プロジェクトは、横浜市立大学の吉田 栄一^{よしだ えいいち} 教授と開発コンサルタントの横山 仁美^{よこやま ひとみ} 氏の企画協力のもと横浜市が主催し、学生の皆さんがアフリカについて同じ関心テーマをもつグループのメンバーとともに、半年間にわたりグループワーク等を行い、その成果を動画にまとめて発表するものです。

このプロジェクトを通じて、国際社会で活躍できる人材の育成を行うとともに、学生自身が将来のキャリアについて考えるきっかけを提供します。

【参考】横浜市 TICAD9 特設サイト

URL : <https://ticad9.city.yokohama.lg.jp/>



※当日取材を希望される場合は、5月30日（金）正午までに、別紙「取材申込書」をメールまたは FAX にてお送りください。

お問合せ先

国際局グローバルネットワーク推進課アフリカ開発会議担当課長 川口 ルリ子 Tel 045-671-4709

次頁あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



参考：当日ゲスト

【講演登壇者】

近藤 千華 様 (国連開発計画 (UNDP) アフリカ局 TICAD ユニット TICAD 連携専門官)



JICA 青年海外協力隊 (村落開発普及員) としてウガンダに赴任後、英国エセックス大学にて修士号 (人権学) 取得。JICA 本部大洋州課・専門嘱託職員、在フィジー日本国大使館 草の根・人間の安全保障無償資金協力委嘱員、タンザニア JICA プロジェクト業務調整員、パプアニューギニア国連常駐調整官事務所勤務を経て、2018 年より現職。

【審査員】

・ウスビ サコ 様 (京都精華大学 元学長／名誉教授、東京都公立大学法人 理事)



マリ共和国生まれ。国費留学生として北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。1991 年来日、1999 年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士 (工学)。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究。京都精華大学学長を経て現職。2025 年日本国際博覧会協会副会長・理事・シニアアドバイザー兼任他。

・徳永 達己 様 (拓殖大学副学長／国際学部教授、山梨県立大学国際政策学部客員教授)



横浜市生まれ。拓殖大学卒、東京海洋大学大学院交通システム工学研究科修了。博士 (工学)。JICA 協力隊 (タンザニア)、開発コンサルタントの経歴を経て現職。専門は土木計画学などインフラ開発、インパクト評価 (RCT)。アフリカをはじめ国内外の都市地域開発分野において数多くの調査研究を実施。

・坂田 ミギー 様 (SHIFT80 代表/クリエイティブディレクター/エッセイスト)



Sler、広告制作会社、博報堂ケトルを経て、株式会社こたつを設立。旅の途上で出会ったアフリカの孤児・貧困児童と女性へのサポートを目的とした、余剰利益の 80%以上をシェアするエシカル・クリエイティブ・コレクティブ「SHIFT80」代表。旅やキャリアに関するエッセイ執筆、講演活動を行っている。

・大野 裕枝 様 (国際協力機構 (JICA) 横浜センター所長 兼 海外移住資料館館長)



JICA 入構後、中東地域及び保健・医療分野を中心に、水、農業、地方行政等様々な分野の人材育成プロジェクトに関わる。スーダン事務所駐在、中東・欧州部勤務などを経て現職。現在は横浜センターにて、海外からの研修員の受入れ、途上国と日本の地域の共創、海外移住資料館を通じた歴史・移住・日系社会・多文化共生等の学びの提供、開発教育等に取り組んでいる。

・国連開発計画 (UNDP) 駐日代表事務所



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」最終セミナー
取材申込書

【送付先】国際局グローバルネットワーク推進課 アフリカ開発会議担当
メール：ki-ticad@city.yokohama.lg.jp
FAX：045-664-7145

■日時：令和7年5月31日（土）10：00～16：00
■会場：JICA 横浜 体育館（横浜市中区新港2丁目3-1）
※当日、直接会場へお越しください

社名	
部署・担当者名	
当日の取材人数	
撮影	<input type="checkbox"/> スチール（ 台） <input type="checkbox"/> ムービー（ 台）
ご連絡先	電話 当日連絡先
	FAX
	メールアドレス
放送・発行予定詳細	月 日（媒体： ） / 未定
備考	